

学期	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 評価方法
					知	思	態	
	4月	1	理科ガイダンス	・年間計画の確認をし、今後の見通しをもつ。				
		8	単元1 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	<p>・水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解する。また、電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、電極に物質が生成することからイオンの存在を知るとともに、イオンの生成が原子のなり立ちに関係することを知る。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>・化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。</p> <p>水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。</p>	○	○	○	<p>【知】化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子のなり立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思】水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。</p> <p>行動観察・レポート・テスト</p>
		9	2章 酸、アルカリとイオン	<p>・酸とアルカリの性質を調べる実験を通して、酸とアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知る。また、中和の実験を通して、酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>・化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。</p>	○	○	○	<p>【知】化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、酸・アルカリ、中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思】水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p>

1 学 期	5 月		・水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。		○	【態】水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。 行動観察・レポート・テスト	
		3章 化学変化と電池	・金属を電解質水溶液に入れる実験を通して、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだして理解する。また、電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を通して、電池の基本的なしくみを理解するとともに、化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを知る。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。（ ・化学変化と電池に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	○	○	【知】化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思】化学変化と電池について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【態】化学変化と電池に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。 行動観察・レポート・テスト・ノート	
		9					
	6 月		章のまとめ	・化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、物質のつくりや化学変化の様子を見いだして理解する。	○	○	【知】化学変化とイオンについての基本的な概念や原理などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】化学変化とイオンについて、観察、実験結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究することができる。 レポート・テスト
		2					
			単元2 生物の連続性				
		1章 生物の成長と生殖	・生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。	○	○	【知】生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	

7月			<ul style="list-style-type: none"> ・生物の成長とふえ方について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現する。 ・生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○【思】生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を繰り返すなど、科学的に探究している。 ○【態】生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり繰り返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。 <p>行動観察・レポート・テスト</p>
	9	2章 遺伝の規則性と遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。（ ・遺伝の規則性と遺伝子について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、遺伝の規則性と遺伝子についての特徴や規則性を見いだして表現する。 ・遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○【知】遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ○【思】遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を繰り返すなど、科学的に探究している。 ○【態】遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり繰り返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。 <p>行動観察・レポート・テスト</p>
9月	6	3章 生物の多様性と進化	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○【知】生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。

10月		<ul style="list-style-type: none"> ・生物の種類の多様性と進化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現する。 ・生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○【思】生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 ○【態】生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。 <p>行動観察・レポート・テスト</p>
	2	<p>章のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習してきた生物の連続性について知り、またそこから成長や生殖の仕組みについて考える。 	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ○【知】生物の成長や遺伝についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ○【思】生物の成長や遺伝についての観察、実験結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究することができる。 <p>レポート・テスト</p>
	9	<p>単元3 運動とエネルギー</p> <p>1章 物体の運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体に力がはたらく運動および力がはたらかない運動についての観察、実験を通して、物体の運動には速さと向きがあること、力がはたらく運動では運動の向きや時間の経過にもなって物体の速さが変わること、および、力がはたらかない運動では物体は等速直線運動することを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身につける。 ・物体の運動について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。 ・物体の運動に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。 	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ○【知】運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ○【思】運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 ○【態】運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。

2 学 期	1 1 月	8	<p>2章 力のはたらき方</p> <p>・物体の運動と力のはたらき方が関係する状況の観察、実験を通して、力のつり合いと合成・分解や、物体にはたらく力と物体の運動の規則性や関係性、水中の物体にはたらく力を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>・物体の運動の状態と力のはたらき方との関係について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のはたらき方と物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。</p> <p>・物体の運動と力のはたらき方が関係する状況に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。</p>	○	○	○	<p>行動観察・レポート・テスト</p> <p>【知】力のつり合いと合成・分解、力のはたらき方と運動の規則性や関係性、水中の物体にはたらく力についての基本的な概念や原理・法則などを、日常生活や実社会の事象と関連づけながら理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身につけている。</p> <p>【思】物体の運動の状態を力のはたらき方との関係について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のはたらき方と物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p> <p>○【態】物体の運動と力のはたらき方が関係する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。</p> <p>行動観察・レポート・テスト</p>
		11	<p>3章 エネルギーと仕事</p> <p>・仕事に関する観察、実験を通して、仕事と仕事率について、また、力学的エネルギーに関する観察、実験を行い、物体のもつ力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事ではかれること、運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることで、力学的エネルギーの総量は保存されることなどを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身につける。</p> <p>・運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。</p> <p>・エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。</p>	○	○	○	<p>【知】力学的エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思】力学的エネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p> <p>○【態】力学的エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。</p> <p>行動観察・レポート・テスト</p>

		2	章のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動について、力のはたらき方や物体のもつエネルギーについて理解するとともに、仕事の規則性を見いだして理解する。 	○		<p>【知】物体の運動とエネルギーに関する事物・現象についての基本的な概念や原理などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思】物体の運動とエネルギーとの関係についての観察、実験結果を分析して解釈し、運動や仕事の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究することができる。</p> <p>レポート・テスト</p>
1 2 月	9	単元 4 地球と宇宙 1章 地球の運動 と天体の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 ・天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。 ・天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 	○	○	<p>【知】身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思】天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p> <p>○【態】天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。</p> <p>行動観察・レポート・テスト</p>	
		14	2章 月と金星の 見え方	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 	○		<p>【知】身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>

1月		<p>・月や金星の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程を繰り返す。</p> <p>・月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	○	○	<p>【思】月や金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を繰り返すなど、科学的に探究している。</p> <p>○【態】月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。</p> <p>行動観察・レポート・テスト</p>	
	5	3章 宇宙の広がり	<p>・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。</p> <p>・太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程を繰り返す。</p> <p>・太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。</p>	○	○	<p>【知】身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>○【思】太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を繰り返すなど、科学的に探究している。</p> <p>○【態】太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。</p> <p>行動観察・レポート・テスト</p>
	2	章のまとめ	<p>・身近な天体とその運動に関する特徴について理解するとともに、天体の運動と見え方についての特徴を理解する。</p>	○	○	<p>【知】天体の動きに関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>○【思】天体の動きに関する事象についての観察結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究することができる。</p> <p>レポート・テスト</p>
		単元5 地球と私たちの未来のために				

3 学 期	4	<p>1章 自然の中の生物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・ある生物の増減が他の生物の数に与える影響や微生物のはたらきの実験を通して、科学的に考察して判断する。 ・生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。 	○	○	<p>【知】日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思】植物が増加すると草食動物や肉食動物が時間を追うごとにその数がどのように増減するかを考察することができる。微生物のはたらきの実験結果から、分解者の役割を考察し、判断することができる。</p> <p>【態】生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。</p> <p>行動観察・レポート・テスト</p>
	6	<p>2章 自然環境の調査と保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・身近な自然環境を調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全のあり方について、科学的に考察して判断する。 ・生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 	○	○	<p>【知】日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思】生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【態】自然環境の保全や自然とヒトの関わりについて探究し、自然環境の保全や自然との向かい合い方に関して自らの考えをもち、表現することができる。</p> <p>行動観察・レポート・テスト</p>

2月

5	3章 人間 科学技術と	<p>・人間は水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知るとともに、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識する。また、物質に関する観察、実験などを通して、日常生活や社会では、さまざまな物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、物質の有効な利用が大切であることを認識する。さらに、科学技術の発展の過程を知るとともに、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。</p> <p>・日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術のあり方について、科学的に考察して判断する。</p> <p>・エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。</p>	○	<p>【知】日常生活や社会と関連づけながら、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>
5	終章 持続可能な社会のために	<p>・日常生活と社会とを関連づけながら、科学技術が人々の生活を豊かにし、人間の経済活動が環境に変化をあたえていることを理解するとともに、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識し、科学的視点で持続可能な社会について調べる技能を身につける。</p> <p>・多様な情報からエネルギーや資源、自然環境についての問題を見だし、調査や文献などの科学的知見を分析し、経済活動と環境保全のあり方について、科学的に考察して判断する。</p> <p>・義務教育段階の理科をふり返り、科学の有効性を判断し、環境に関する科学的調査を計画し、持続可能な社会の実現に向けてねばり強く討論する。</p>	○	<p>【思】日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術の利用について、観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。</p> <p>○ 【態】エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。</p> <p>行動観察・レポート・テスト</p> <p>【知】経済活動と資源、環境を関連づけながら、生物相の変化、資源の減少などを理解し、それに対する科学技術や社会的取り組みから、持続可能な社会に向けた行動判断のもとになる科学的調査（文献調査もふくむ）の技能を身につけている。</p> <p>【思】資源・環境の持続性について問題を見だし、身のまわりの調査活動をレポートにまとめ、科学的に考察して、持続可能な社会に向けての行動を判断している。</p> <p>○ 【態】これまでの理科学習について進んでふり返り、持続可能な社会の実現案を出すための探究を計画し、科学的に探究し、計画的に知識を定着させ、思考力を高めている。</p> <p>行動観察・レポート・テスト</p>

		2	章のまとめ	・日常生活や社会と関連付けながら、自然環境や自然災害などについて理解する。	○		○	<p>【知】自然環境に関する事象・現象についての基本的な概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思】自然環境に関する事象についての観察結果を分析して解釈し、関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究することができる。</p> <p>レポート・テスト</p>
3月		3	1年間の復習	・これまでに学習してきた内容を確認し、内容を振り返る。	○	○	○	<p>【知】1年間で学習した基本的な概念や原理・法則などを理解している。</p> <p>【思】1年間で学習した内容についての知識を活用し、応用問題について考えることができている。</p> <p>プリント</p>